

対象機種：MCY-MAP1601H＊、MCY-MAP2241H＊、  
MCY-MAP2801H＊、MCY-MAP3151H＊、  
MCY-MAP1121HN＊、MCY-MAP1401HN＊、  
MCY-MAP1601HN＊、MCY-MAP2241HN＊  
●必ず対象機種に適応した配線接続を行う 誤配線をすると故障の原因になります。

## TOSHIBA 東芝パッケージエアコン クリーンコンバータ据付説明書 C 形名 TCB-HCR1B

“安全上のご注意”については、エアコン本体の据付説明書の記載事項をお読みになり、  
お守りください。

### ⚠ 注意

- 据え付け作業のときは手袋（※）を着用する  
着用しないと部品などにより、けがをする原因になります。（※軍手など厚手の手袋）



## 部品

本品には下表の部品が入っていますので、ご確認ください。

No.	品 名	数量	No.	品 名	数量
①	クリーンコンバータ本体	1	③	結束バンド	1
②	閉端接続子	1	④	据付説明書	1

## 据え付け場所の選定

### ⚠ 警告

- 据え付けは、重量に十分耐える所に確実に行う  
強度が不足している場合は、ユニットの落下により、けがの原因になります。
- 台風などの強風、地震に備え、所定の据え付け工事を行う  
据え付け工事に不備があると、転倒などによる事故の原因になります。



### ⚠ 注意

- 水につかる恐れのある場所に設置しない  
雨水、降雪、室外機から排出されるドレン水等につかると、感電・故障の原因になります。基礎を高くするか、架台（積雪以上、水のつからない高さ）を設置して、その上に据え付けてください。
- 可燃性ガスの漏れる恐れのある場所に設置しない  
万一ガスが漏れてユニットの周囲に溜まると、発火の原因になることがあります。



- クリーンコンバータは別置き型です。  
下記の条件にあった場所にお客様の理解を得てから据え付けてください。
- 風通しがよく吸込口、吹出口の近くに障害物のない場所
  - 運転音や振動が増大しない場所
  - 室外機の吹出風があたらない場所
  - なるべく直射日光のあたらない場所
  - 塩分の多い場所（海岸地区）や、硫化ガスの多い場所（温泉地区）  
（ご使用の場合は特別な保守が必要です）
  - 高周波を発生する機器（インバータ機器・自家発電機・医療機器・通信機器）がある場所  
（エアコンの誤動作、制御の異常、それら機器へのノイズによる弊害が生じる恐れがあります）
  - 油・蒸気・油煙や腐食性ガスの発生する場所
  - 有機溶剤を使用している場所
  - クリーンコンバータの重量に耐えられない場所

## クリーンコンバータの据え付け

- 基礎の強度、水平度を十分確認して据え付けてください。
  - 右図の基礎図にしたがってアンカーボルトで確実に固定します。  
（アンカーボルト・ナット M10×4 組）
  - 基礎の取り付けは、下図のように固定脚下面の根元（曲げ部）まで受けるようにしてください。
- 

## 電気配線

詳しくはエアコン本体の据付説明書をお読みください。

- ◇漏電遮断器のスイッチ位置が「OFF」の状態、電気がきていないことを確認してから作業を行ってください。

### ⚠ 警告

- 電気工事は、電気工事士の資格のある方が、「電気設備に関する技術基準」、「内線規程」および据付説明書にしたがって施工し、必ず専用回路を使用する  
電源回路容量不足や施工不備があると感電、火災の原因になります。
- 配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように確実に固定する  
接続や固定が不完全な場合は、火災などの原因になります。
- アースを必ず取り付ける  
法律による D 種接地工事が必要です。アースが不完全な場合は、感電の原因になります。  
アース線は、ガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。



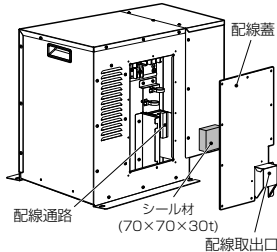
## 電気配線（つづき）

### お願い

- 電源配線は所轄の電力会社の規定および電気設備基準に従って行ってください。
- 電源線・アース線・クリーンコンバータの出力線・クリーンコンバータ用電源線は、現地手配となります。
- 電源線・アース線の仕様については、室外機据付仕様と同じになりますので、室外機に付属の据付説明書「電気配線」を確認してください。
- クリーンコンバータの出力線・クリーンコンバータ用電源線は、2mm<sup>2</sup>以上の線を使用してください。
- クリーンコンバータ用電源線の長さは、5m 以下にしてください。
- 配線する際は、必ず端子番号を合わせて接続してください。誤配線すると故障の原因になります。

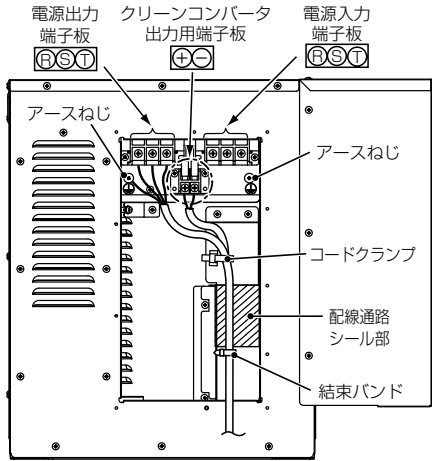
## 配線接続

- (1) クリーンコンバータの配線蓋をはずします。  
配線通路にシール材（70×70×30t）が組み込まれているので、取りはずします。
- (2) 電源出力端子板と室外機のクリーンコンバータ用端子板の端子番号（R,S,T）を合わせて、電源配線を接続します。
- (3) クリーンコンバータ出力用端子板と、室外機のクリーンコンバータ用端子板の端子番号（+,-）を合わせて、クリーンコンバータの出力線を接続します。



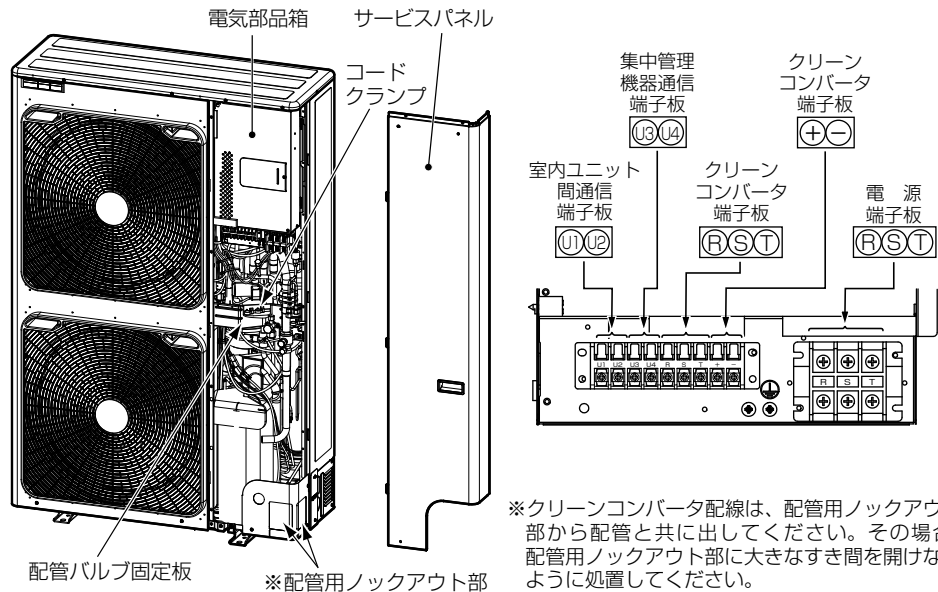
端子番号（+,-）を誤配線すると故障の原因となります。

- (4) クリーンコンバータ本体と室外機間をアース線で接続します。
- (5) 端子板のねじはしっかりと締め、接続部に力がかからないように必ずクリーンコンバータ・室外機に備え付けのコードクランプに固定してください。
- (6) 配線通路の防水処理をします。  
①クリーンコンバータの配線通路のシール部に配線を組み込みます。  
②配線の広がりを防ぐために配線取出口の近傍で、クリーンコンバータに付属の結束バンドで配線を結束します。  
③ (1) ではずしたシール材を使用して、配線をシール材で挟み込み、すき間ができないように処理してください。

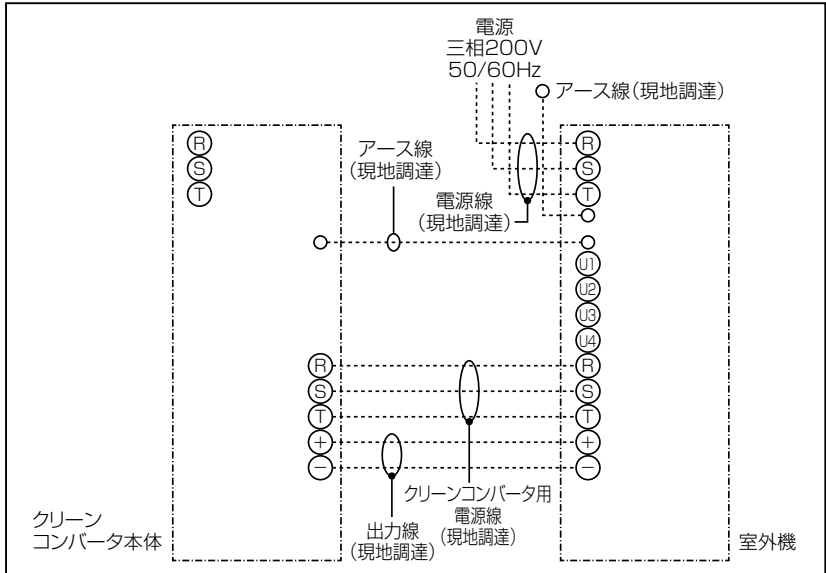


施工不備があると感電・故障の原因になります。

- (7) クリーンコンバータの電気配線のねじ固定部が確実に締まっていることを確認し、配線蓋を取り付けます。
- (8) 下図に従って、室外機にクリーンコンバータ配線を接続します。  
室内外通信配線から離して引き回すよう注意してください。



- 必ず対象機種に適応した配線接続を行う  
誤配線をすると故障の原因になります。



- (9) 室外機の電気配線のねじ固定部が確実に締まっていることを確認し、サービスパネルを取り付けます。